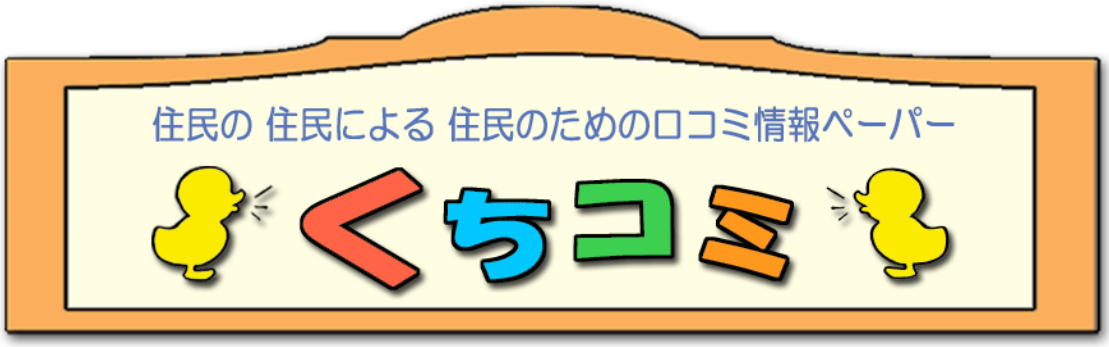
住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



平成 24 年号

まちづくり応援団 えーる

もくじ

第36号
　潮音洞、鹿野の瓦窯、かまくら作りの手子人特集
第37号
　鹿野のかまくらと鹿野の町づくりアイデア特集
第38号
　（欠番）
第39号
　GardenCafe９１１と古民家ギャラリー特集
第40号
 巨木特集、かののむかしばなし（樫ノ木さま）
第41号
　劇団「わ」と和紙ランプ制作ワークショップ特集
第42号
　鹿野アートフェスティバル、鹿野の風プロジェクト特集
第43号
　活鮮ストアー子どもまつり、鹿野の盆踊り特集
号外15
　かまくら作り特集

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

36号

平成２４年１月２３日発行
発行者：町づくり応援団”えーる”

潮音洞ができるまで

鹿野の歴史探訪　その２

新年明けましておめでとうございます！

もう平成24年も最初の一ヶ月が終わりそうですね。皆様はお元気で過ごされていますでしょうか。さて、新年明けての”くちコミ”では、先月号に引き続き鹿野の歴史を追っていきたいと思います。

鹿野市が今の場所に移った経緯に、鹿野の歴史を語る上で欠かせない”**潮音洞**”の存在があります。鹿野の中心は台地になっていて、当時の集落（古市付近）に川が無いためとても水に不便していました。そうした状況を見かねて、岩崎想左衛門が生活用水や防火用水のためにトンネルを掘って水を集落に通そうとしたんですね。

こうして作られた潮音洞の水は、ただちに現在の上市の方へ流れて鹿野を潤した……という印象が強いのですが、実はこの水は最初、**古市側にだけ流れていた**んですよ！

上市側に水路を拡張したのは岩崎想左衛門の**子・重之、孫・重信**の時代です。最初の水路は古市側を流れ、最後はまた川に注ぐような形で作られていたようです。川に注ぐ水の最後、”水尻”にあたる部分は当時まだ未開の荒地だったそうです。岩崎想左衛門は、潮音洞の工事を願い出た際、この荒地を開拓して私有地にしようと考えていたようです。

この水尻に当たる場所は、現在のゆめの台や、やまなみ荘の辺りにあたる”小谷原”と呼ばれる場所です。今はもうすっかり開拓されていますが、この地が開拓されていったのも、実は潮音洞のおかげなんですね！



漢陽寺さんの裏手にある潮音洞の出水口です。山向こうの渋川から水を運んでいるんですよ。



こちらが、岩崎想左衛門が開拓を願い出た小谷原の今の光景です。すっかり開拓されていますね！

小谷遺跡と鹿野の歴史

弥生時代の鹿野の町なみ

さて、岩崎想左衛門が潮音洞を掘ることを願い出て、その水の終点として考えていた小谷原ですが、ここ最近で「小谷」という名前をどこかで聞いたような……と思われる方もいらっしゃるかと思います。

この小谷辺りの畑から、岩崎想左衛門の時代よりもっともっと昔、日本に稲作が伝わってきた**弥生時代の頃に人が住んでいた集落の遺跡である”小谷遺跡”が発掘**されたのは、もう１５年以上も前の話になります。

この小谷遺跡は、この周辺に広がっていたであろう集落のごく一部が発掘されたもので、約4,000平方メートル程度が発掘調査されています。しかし、実際には**もっと広い範囲に人々が住んでいた痕跡があるのでは**……と言われています。鹿野の町には、わたし達の生まれるずっと前から大きな町ができていたんですね！

また、**鹿野には他にもたくさんの遺跡があります**。この小谷遺跡よりも古い時代のものとされる天子（あまご）遺跡の他、今井（いまい）や大町、細野、龍ノ原（たつのはら）など、鹿野のあちこちに遺跡があるんですよ。もしかすると、皆さんがお住まいの場所のすぐ近くにも、遺跡が眠っているかもしれませんね！

現在、遺跡が出土した場所は特別養護老人ホーム”やまなみ荘”として利用されています。

その敷地内には、右のようなディスプレイが設置されているんですよ。昔の様子の想像図も描かれていて、目で見てすぐにどんな様子だったのかを想像することができました。





図書館の二階には小谷遺跡の出土品を集めた”**小谷遺跡コーナー**”があります。

古代の装飾品である勾玉や土器、炭化した木材など、かつての鹿野の住民が生活していた跡を見ることができますよ。はるか昔の鹿野について思いをはせるのも素敵だと思います。

展示をご覧になるときは、図書館の職員さんに一声かけてから二階へお進みください。







鹿野の陶芸探訪

鹿野に「瓦窯」があった？

その２　大町地区

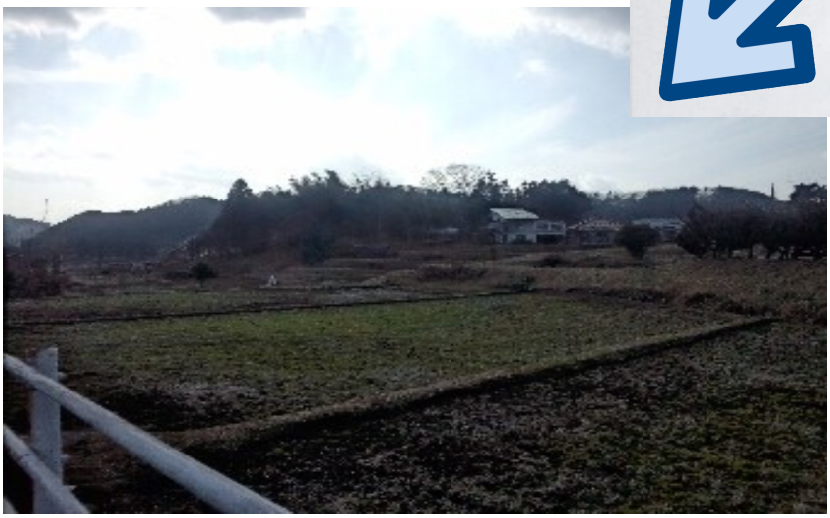
さて、くちコミ３４号でも取り上げました「鹿野瓦」の窯ですが、大正時代の末には**年間13万枚**もの瓦を焼いているほどの大きな産業でした。大町にもその跡を見ることができる場所があって、それが今回まとめました「大町の瓦窯跡」になります！

石見から職人さんをお招きして製作していたというこの瓦窯は、窯以外にも作業小屋や土置き場の跡地がわかっていて、当時の様子をうかがうことができます。右の地図は平成5年に教育委員会がまとめた「**鹿野町の遺跡**」という本から抜粋したものですが、今の写真と照らし合わせると「ここに窯があったのかな」ということを感じることができました。大地庵から運んできた土を、この場所でせっせと焼いて瓦にしていたんですね。

今でこそ窯はなくなってしまいましたが、当時の鹿野はあちこちで窯の煙が上がるような「陶芸の町」だったのかもしれないですね！







鹿野の瓦窯は、この大町のような様式が一般的だったそうです。昔は、こんな大がかりな窯が鹿野のあちこちにあったんですね！

今では草が生い茂っていたり、田んぼになっている場所ですが、そばを通るときは昔に思いをはせてもいいなと思います。

みんなで作りませんか？

かまくら作りの”手子（てご）”人募集！

今年もずいぶん雪が多そう、なんて噂がありますね。通行の邪魔になってしまうこのやっかいな雪ですが、これを使って町を元気にしよう！

という計画が進んでいるんですよ。

雪と言えばゆきだるまなど、色々な物を作るのにも使われていますが、今回作ってみようというのは**かまくら**なんです。

雪深い地方では当たり前のかまくらですが、ここ鹿野は本州でも一番西の山口県。そんな場所でかまくらができるとわかったら、**たくさんの人が鹿野を見に来てくれる**と思います！

商工会と山口県デザインセンターが主催している”**鹿野ブランド創出研究会**”さんが企画されているこのイベントですが、かまくらを作るとなると一人二人の力ではとてもできることではありません。そこで、**この鹿野に住む皆さんもこのイベントに協力していただければ**と思います！

合言葉は「とことん田舎」！
雪を使って町を元気に♪

お願いしたい内容ですが、**20cmぐらいの積雪があったときに連絡をさせてもらい、軽トラックで雪を集めて雪山を作り、その山を掘ってかまくらを作る**、という感じになります。

かまくら作りに協力してもいいという方がいらっしゃいましたら、是非下記のお問合せ先にお電話していただければと思います。

いつもはただのやっかい者の雪ですけれど、童心に返ってみんなで雪を楽しんでみませんか？

お問合せ先

かまくら作りに協力したい、どんな内容なのか聞いてみたいという方は以下のお問合せ先までどうぞ。

鹿野町商工会
TEL　0834-68-2259
鹿野総合支所　産業土木課
TEL　0834-68-2335

みんなの力で、素敵な”鹿野”を作りませんか？
ご協力お待ちしております♪



～くちコミ　36号～（平成24年1月23日発行）
町づくり応援団”えーる”HP：http://straynotes.net/
ウェブ検索単語は「StrayNotes」か「町づくり応援団”えーる”」でどうぞ。

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

37号

平成２４年２月２８日発行
発行者：町づくり応援団”えーる”

鹿野の雪を楽しんでみました♪

昼のかまくらと夜のライトアップ！

２月初めに強い寒波がきていましたね！　鹿野の町なかもすっかり雪に埋もれていたように思います。さて、雪といえば、先月号や号外でも取り上げてまいりました「かまくら作り」が、**鹿野ブランド創出研究会さんの企画・主導**のもとで実施されていましたね！　鹿野のあちらこちらにたくさんのかまくらや雪像が作られていましたよ。

そして一番大きなことは、**みんなで楽しんでこのかまくらを作ることができた**ということですね！　どんなことも嫌々やるより、楽しんでやれればいっそういいものになると思います。

お手伝いさんである「手子人（てごにん）」も、**なんと光市からやって来た方がいる**んですよ！　鹿野だけではなく周南市も飛び越えて集まったみんなの手で、かまくら作りが行われたんですね。

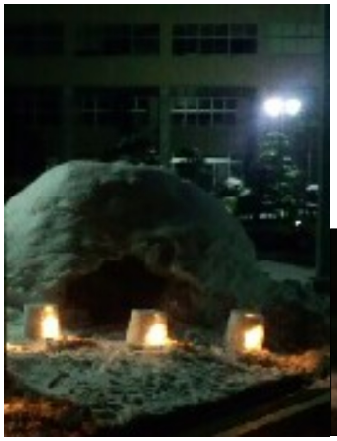
今季、また雪が降ればかまくら作りは行われると思います。今度はもっとたくさんの人が参加されると素敵ですね！

かまくら以外にも、左のように雪を使った像もあちこちで作られていました！

写真ははなどりさん前にできた「となりのトトロ」の雪像です。まるで札幌の雪まつりみたいですね！

大雪はとても大変でしたが、たくさんの「楽しさ」を鹿野に生みだしてくれたんだなぁと思いました。





総合支所前から交差点を横切って商店街に入り、ミニかまくらはどんどん並べられていきます。



　鹿野総合支所前に作られた大きなかまくらも、夜にはこんなに変わりました。
　昼間もすごい存在感でしたが、夜になるとまた一味違った素晴らしさを感じますね。総合支所前のかまくらは、散歩に来たお子さんにも大人気！　写真を撮ったり、中に入ってみたりと、皆さん興味しんしんといった様子でこのかまくらを眺めていらっしゃったのがとても印象的でした。
　またたくさんの雪が降ったら、大きなかまくらができるといいですね！





　また、２月９日の夜にはちょっとしたイベントも行われました。鹿野総合支所から上市を通り、中西商会さんの辺りまで、**小さなかまくらの中にろうそくを入れて、火を灯した**んですよ！
　冬の夜に、ろうそくの火がずっと並んでいるのはとても素敵な光景でした。近くの方は、ろうそくに火がついているのを見られたのではないでしょうか。
　その日は上市の道は凍結していましたが、たくさんの方がろうそくの並んだ道を歩いているのを見かけました。
　今度は町の人はもちろん、**小学校や中学校の生徒さんなども加えて、もっとたくさん、もっと長いろうそくの道ができるといいですね**、という話も聞こえてきました。
　今度やるときは、もっとすばらしいものができると思います！　なんだか雪が待ち遠しくなっちゃいますね♪

町なかの中ほど、**中西商会さんの前まで**ミニかまくらは続きました！　終点近くにはちょっと大きめのかまくらも♪





鹿野のこれからを考えます！

とある町づくり計画の話

先日、とある方とお会いしてお話をうかがいました。その方はお仕事のかたわら色々な場所を回られ、町づくりの構想を考えられてきて、今回そのお話の一端を聞かせてもらうことができたんです。その方は「**行政だけ、個人だけが動くのではなく、地区全体で動くことが大事なんです。点と点を結んで、鹿野が一つになるようなしかけが必要だと思います**」と言われていました。

昨今、道の駅などがたくさん建っていますが、そのほとんどは郊外に建てられていて昔ながらの商店街にはあまり足を運ばれていないのが現状ではないかと思います。**道の駅だけではなく、町のみんなが元気になるべきである、そのために町なかが元気にならないと**、というお話を聞かせていただきました。ここで、そんな考えの一端をご紹介したいと思います！



この通りがこの雰囲気のまま、もっと賑やかになったらとても素敵ですね！

からんころん通り

まず、鹿野の町なかにこんなものを作ったらどうだろう？　というお話をいただきました。とはいっても、特別なものを作るというわけではないんです。**町並みの両側に店が並ぶ様子がとてもいい**ですね、その町並みを生かした計画が進められないでしょうか、と言われていました。

この町並みを生かして、歩行者天国をする日が作れないだろうか、そして**歩行者天国にした鹿野の町の中を、下駄や浴衣などを貸し出してゆっくり歩くような日を作ってみては**どうでしょうか、タイトルにもあるとおり下駄の音になぞらえて「からんころん通り」という名前をつけて、皆が親しめるようにしてみてはどうだろうというお話をいただきました。

鹿野の町並みはとても素敵な、そして今となってはとても貴重なものだと思います。そんな町並みを皆さんに見ていただけたら、とても素敵ですよね！

また、鹿野の財産でもあり歴史を語るうえで外すことはできない「潮音洞（ちょうおんどう）」。この潮音洞の水を使って町づくりができないか、というお話もいただきました。

あちこちで湯に足をつける「足湯」は行われていますが、**夏限定で「足水」**をやってみてはどうだろう？　という計画を立てられていました。夏の暑い時期に、涼しい水に足をつけて冷たいお茶でも飲めたら、とても気持ちよさそうですね。

鹿野を昔から潤してきた潮音洞は、今も変わらずきれいな水を通し続けています。その水を使って、また鹿野に元気を呼べるといいですね！

足"水"



平成の名水百選にも選ばれた清流通りです。この通りに新しい名物が生まれるかもしれませんね！

その他にもたくさんのお話を聞かせていただきました。

「みんなが楽しくなれる場所を作る」「鹿野の特産品であるわさびを使った新しい特産品を作ってみては」

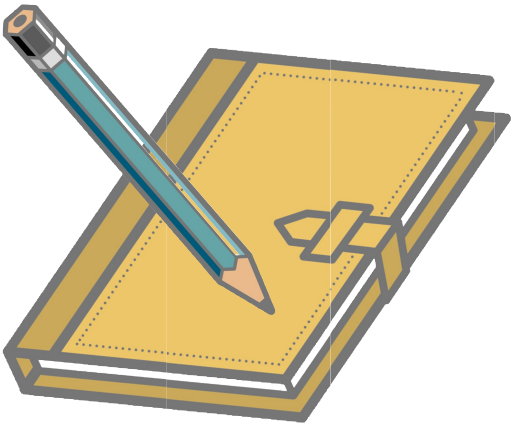
などなど……どれにも共通して言えることですが、皆で考えて話し合い、実現していくことが大事だと思います、というお話をいただくことができました。

また、鹿野の住民だけで色々なことを行うのではなく、全国から色々なお店を呼んだり、インターネットやテレビを通じてたくさんの人に呼び掛けたり……ということも大事だと思います。

自分たちがこうしたい、こんな町になってほしいという気持ちを現実にするためにいろいろ考えて話し合っていく、そして鹿野の町づくりという物語を作っていくことが、とても大事なんだなと思うことができました。

表面で取り上げましたかまくら作りもそうですし、これから鹿野でもっとたくさんの「物語」を作っていきたいですね！

"物語"を作ろう！



～くちコミ　３７号～（平成24年2月28日発行）
町づくり応援団"えーる"HP：http://straynotes.net/
ウェブ検索単語は「StrayNotes」か「町づくり応援団"えーる"」でどうぞ。

重要なお知らせ　今月号より「くちコミ」はＢ４片面刷りに変更いたします（つまり**裏面がなくなります**）。

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

39号

今井農道でゆっくり♪
Garden Cafe 911のオープンです。

もうすっかり暖かくなって、桜もあちらこちらで咲いていますね。

さて、新年度最初の「くちコミ」では、先月お伝えいたしました「桜さくらウィーク」にも参加されています”GardenCafe 911”さんの情報をお届けしたいと思います。

お店を経営されている、吉岡勝己・恵子夫妻にお話をうかがってまいりました！

****

まず、鹿野でお店を開かれたきっかけについてお聞きしてみました。奥様が元々鹿野の出身であるという吉岡さんですが、建物のログハウスは別荘のようなものだったそうです。お店もできるようになっていて、春になって暖かくなってきたし、お店をやってみようか……ということで、このお店が開店したんですよ。

「鹿野を一度離れたからわかるんですが」という鹿野の魅力ですが、**すべてが魅力的**、というお言葉をいただきました！　**四季それぞれの趣きもあり、のどかで空気も水もきれいで、ほっとする癒し**を感じられているようです。人に流されず、自分自身に戻ることができる、そんな空間が鹿野ですね、というお話もいただきました。



お店の周りにはたくさんの花が植えられていました。自然豊かな今井農道の途中にあり、とても癒される空間になっているんですよ。

もっと鹿野がいい場所になるには、若い人たちがもっと足を運べるようなものがあればいいですね、というお話もうかがえました。

お店のある今井農道からは、鹿野の町並みを見下ろすこともできます。

普段は近すぎて気づけない鹿野のすばらしさを、このお店で再発見してみませんか？



Garden Cafe 911

営業時間：11：00～20：00　＊完全予約制です！
定休日　：不定休
住所　　：鹿野中481番地の1（今井農道途中のログハウス）
電話　　：0834-68-0911

分量は減ってしまいますが、その分一つ一つの記事はいい記事を作りたいと思います！

いらっしゃいませ、”くつろぎ”へ

～古民家ギャラリー　春の催し～

さて、この春には昨年の12月号で取り上げました古民家ギャラリー”くつろぎ”が再び開館いたします！

4月の催しものとして、小学校の教員として長年お勤めをされていた佐衛田稚江（さえだわかえ）（雅号：瑛芳）さんの書道展が行われます。佐衛田さんは昭和30年頃から書を始められ、京都伏見にある民主書道研究会に入会され、同会の教本でお手本を書かれるなど、**鹿野はおろか山口県の外でも活躍されている方**なんですよ。

また、21日（土）には、フォークソングで活動されている女性グループ「**オレンジマーマレード**」さんをお招きしてのミニコンサートも開催されます！　人気・実力ともとても高い音楽グループで、きっとすばらしい音色を聴かせていただけると思います♪

鹿野もずいぶん暖かくなってきましたし、ちょっと散歩ついでに”くつろぎ”に足を運んで”くつろいで”みませんか？



会場はこちら、鹿野郵便局の裏、青木酒造さんの隣りにある民家になります。２階は**図書館絵画サークルさんの常設展示場**として使われていますので、ゆっくりお楽しみいただければと思います。

また、”くつろぎ”さんに当フリーペーパー「くちコミ」も置いていただいております。よろしければご一緒にお楽しみくださいませ♪

”くつろぎ”　４月の催し

佐衛田稚江　書道展

会期：４月１３日～４月２９日

オレンジマーマレード　ミニコンサート

開催日：４月２１日　１３：３０～

コンサート観覧料　３００円（桜餅とお茶つき）

開館日は金・土・日曜日、入場料は無料です！
お気軽にお立ち寄りください♪

なお”くつろぎ”は「鹿野が元気になるように使ってもらいたい」という持ち主・日坂さんの思いから、皆さんの作品等を展示できるようになっています！

鹿野にご縁のある方（在住している、通勤してくる、出身が鹿野）は一日500円、それ以外の方には1000円でスペースを貸していただけるそうですよ。

詳しくは”くつろぎ”にお問合せください。

くちコミ　３９号（平成２４年　４月１５日発行）
発行者：町づくり応援団”えーる”HP：http://straynotes.net/
HP検索は「町づくり応援団”えーる”」か右のQRコードからどうぞ。

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー
くちコミ

発行　〝くちコミ〟編集部
ＵＲＬ：http://straynotes.net/
＊原稿の寄稿も受付中です！

鹿野の魅力発見 たくさんの巨木がこんなに近く！

県内有数の巨木が集う町、鹿野

鹿野はとてもたくさんの自然に囲まれています。しかしこの鹿野の自然はただの自然ではありません。実は、県下有数の巨木の名所として有名なんですよ！

たとえば、大泉にある”金松桜（きんしょうざくら）”。見上げるほど大きなその桜を見られている方も多いと思いますが、実はこの金松桜は県内最長の高さを誇る桜の木なんです！

その他にも風呂ヶ迫（ふろがさこ）にある県指定文化財となっているエノキの巨木や、秘密尾（ひみつお）の方に足を運べば以前お祭りの様子を特集しました氷見（ひみ）神社は、社殿の回りのシイノキ、上に上ってウラジロガシやハイノキ、さらに上がるとブナ、ミズナラを見ることができ、標高が上がるにつれて植物の種類が変わっていく様子がそのままに残っていることから、山全体がとても貴重な文化財として見られていたりするんですよ。

また、秘密尾はシイノキが生える北限の地域、つまり生育が難しい地域なんです。そんな条件の悪い所にも関わらず、なんとここのシイノキは県内２番目の大きさなんです！　いかにこの地域の木が長い年月をかけて大きくなっていったかを物語っていますね。



←氷見神社の境内にある巨木です。実際に見るとすごい迫力ですよ！



そしてここが鹿野のすごいところなんですが、普通大きな木は人の手が入らないような山奥に生えているのに、鹿野では人の住んでいるすぐそばでも大きな木を見ることができるんです！

鹿野総合支所から漢陽寺（かんようじ）までの”清流通り”を歩くと、県内最大級のシダレザクラである弾正糸桜（だんじょういとざくら）や龍雲寺（りょううんじ）横のカシの木、二所山田神社のイチョウ、漢陽寺のカヤの木と、山奥でなくても、足場のよい所でたくさんの巨木を楽しめます。他にない鹿野の魅力ですね♪

こうした木々を調査し、守っているのが今回取材させていただいた”杜（もり）の仲間たち・鹿野”さんです。

観光ボランティアガイドなどでもご活躍されている原田明先生を会長として、７～８年前から鹿野の巨木の調査することを目的に活動を開始されました。

実は金松桜を発見したのも、この”杜の仲間たち・鹿野”なんです。周りを木に囲まれて弱っていた金松桜を守ろうと、土地の所有者の方に掛け合って周囲の木を伐り、金松桜を保護することに成功したんです。

鹿野には他にも、西河内の山の尾根に鹿野町時代の町花「シャクナゲ」の県内最大規模の群生地があったり、笹やぶの中に眠っていた弟見山（おとみやま）のカタクリは、本州最南端の群生地として知られているんですよ。

自然いっぱいの鹿野には、まだまだたくさんの宝物が眠っているんだな、と思いました！

かののむかしばなし　「樫ノ木さま」

むかしむかし、金峰山のふもとの菅蔵には、それはそれは大きな樫の木があったんじゃ。菅蔵の人たちは、その大きな樫の木を「樫ノ木さま」と言うて、田畑の豊作をお願いしたり、作物のできばえをたずねたりと、それはそれは大切に敬っていたそうな。

さて、ある暑い夏の日じゃった。菅蔵に暮らす孫平さぁは、ふもとの樫ノ木さまの所へやって来た。夏の日差しを浴びてすくすくと育っておった稲が、どんなあんばいに実をつけるか、聞いてみようと思ったんじゃ。

「樫ノ木さま、樫ノ木さま。今年の稲のできばえは、どんなあんばいになりますかいのう」

そう孫平さぁが聞いたところ、樫ノ木さまは、

「わし、わしわしわし、みーんみーん」

と、お答えになったそうじゃ。

「はぁ、そうでありますか、まだ樫ノ木さまも見ちょっちゃぁありませんかいのぅ」

孫平さぁはその答えを聞いて、汗をふきふき樫ノ木さまに言うたんと。

「そんならまた来ますけぇ、よう見ちょってつかさんせ」

と樫ノ木さまにお願いして、家に帰ったそうな。

それから四、五日ほどしたころじゃろうか。孫平さぁは畑仕事も終わった夕方になって、稲の調子を聞きにまた樫ノ木さまを訪ねたんと。

「樫ノ木さま、樫ノ木さま。稲の調子を、見てくださいましたかいのう」

すると、樫ノ木さまがこう答えたんと。

「なかなか、なかなか、なかなかー」

「はぁ、樫ノ木さまはなかなかとしか言いされんが、まぁ、また聞きに来ますけぇ」

と、えっちらおっちら、家までの道を帰っていったんじゃ。

また数日が過ぎて、孫平さぁは樫ノ木さまに聞いてみた。

「樫ノ木さま、樫ノ木さま。稲の具合は、どねいですかいのう。ようできちょりますかいのう」

さわさわ、さわさわと風で枝を揺らしながら、樫ノ木さまが答えた。

「なかなかよぅし、つくりんよぅし。なかなかよぅし」

それを聞いた孫平さぁは、にこりと笑って言うた。

「そうかそうか、今年の作りは、なかなか良いものでありましたかいの。それなら安心でよ。樫ノ木さま、どうもありがとうありました」

深々と頭を下げて、孫平さぁは意気揚々と家に帰って行ったんとい。

それから、村のみんなに孫平さぁは言うて回ったんじゃ。

「みんな、今年の作りはなかなかよしと、樫ノ木さまが言うていらっしゃった。今年は豊作で間違いなしじゃ」

おしまい

……さてさて、「樫ノ木さま」いかがだったでしょうか？

もちろん、樫の木が本当にしゃべっていたわけではなくて、この樫の木にはたくさんのセミがくっついていたんですね。

セミといっても鳴き方は色々で、最初の「わしわし」はクマゼミ、「みんみん」はミンミンゼミ、「なかなか」はヒグラシ、「つくりんようし」はホウシゼミの鳴き声なんですよ。

そろそろ暑い夏がやってきますが、聞こえてくるセミの声に耳を澄ませてみるのもいいですね！



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー
くちコミ

発行　〝くちコミ〟編集部
ＵＲＬ：http://straynotes.net/
ご意見・ご感想、お問合せ先：
kuchikomi2009@gmail.com
＊原稿の寄稿も受付中です！

劇団「わ」公演まであとわずか！

６月も終わりに近づき鹿野も夏らしくなってきましたが、皆さんお元気ですごしていらっしゃるでしょうか。さて、この時期はおなじみ〝劇団「わ」〟の公演の季節でもあります！　今回でなんと１１回目を迎える劇団「わ」の公演は、舞台を旅館から交番に移して繰り広げられる「せせらぎ交番物語」。若い警察官がやってきた田舎の交番で巻き起こる事件を取り上げた作品となっています。

代表の亀谷三千代さんに今回の見どころを聞いてみました。今回も今までと同じくテーマは「絆」ですが、今回の脚本は役者として活躍してきた小西規子さんが担当されています。田舎の交番を舞台に、一人のおまわりさんが、周りの人やいろいろな事件に向き合ううちに少しずつ成長していく姿を描いているんですよ。

そして、この「せせらぎ交番物語」にはなんと２０人以上の方が出演されるんです！　過去の劇団「わ」公演を通してみても最大級の出演人数でお送りする今作は、今まで舞台に立ってきた皆さんはもちろん、たくさんの新人さんも加わっての公演になります！　おなじみの役者さんはもちろん、「あの人も出演しているんだ！」という驚きがたくさんありそうですね。

今年も一人ひとりの個性豊かな演技がきらりと光るすばらしい舞台になること、間違いなしですよ。

六月三十日（土）　夜七時より公民館にて開演





そして、そんな劇団「わ」の応援団が合ノ川にいると聞いて、さっそく現地に行ってまいりました！

上の写真をご覧ください。なんとその応援団は小さなお地蔵さんなんですよ。よく見てみると……よだれかけに、「わ」の手ぬぐいをされています！

もしかすると、あの「かさこ地蔵」みたいに、「わ」のよだれかけをつけたお地蔵さんが公演を盛り上げにやってきてくれるかもしれませんね！

他にもこうした情報があれば、どしどしお寄せください。みんなで「わ」を盛り上げて、みんなでもっと楽しい劇団を作り上げていくことができればいいな、と思います。たくさんの人の気持ちが集まって、大きな「わ」ができるといいですね♪

さて、肝心の「わ」公演ですが、毎年おなじみの鹿野公民館２階講堂を会場に行われます。

６月３０日（土）の夜6時半に開場、夜7時より開演となっています。入場料はもちろん無料ですので、お気軽に足を運んでみてくださいね。会場近くに駐車場も準備されますので、お車でのお越しを考えておられる方も安心してお越しください。

じめじめした梅雨の空気を吹き飛ばすような役者さんの演技を見て、みんなで元気になれるといいなと思います。当日はぜひ鹿野公民館にお越しくださいませ。

七夕の日に願いをこめて……

～七夕ワークショップ"夢あかり"開催のお知らせ～

山代和紙でランプを作りませんか？

７月最初のイベントといえばやっぱり「七夕」ですね。笹に短冊を結びつけて願い事をした、なんて思い出のある方もたくさんいらっしゃると思います。

そんな七夕の日に、当団体も参加している「鹿野アートフェスティバル実行委員会」では、鹿野の伝統工芸品である「山代和紙」を材料にした和紙ランプを作るイベントを行います！

七夕ワークショップ”夢あかり”と題して行うこのイベントでは、ご参加いただいた皆様に、山代和紙を実際に触ってランプを作ってもらい、最後に作ったランプに願い事や夢を書き込んでもらって、明かりをともそうと思います。

皆さんの「夢」に「あかり」をともして、鹿野の夜を彩りたい……そんな思いで、この「夢あかり」というイベントを企画いたしました。

また、ランプを作った夜には、皆さんに作っていただいた山代和紙ランプと、竹とうろうを使ってのライトアップも行います。コアプラザかののロビーから見える「御霊山」に竹とうろうを飾って明かりをともし、七夕の夜を彩りたいと思います。

実は七夕は、もともとお盆行事の一つという意味合いが強い行事だったんです。それに、ライトアップを計画している御霊山も、祭ってある神様は残念ながらわかりませんでしたが、神様の宿る祠がある山なんです。そんな場所をライトアップすることでもありますし、皆さんの夢や願い事はもちろんのこと、祈りを捧げる時間にもなってくれればと思います。

笹の葉さらさら……ではない、一味違った七夕のタベを過ごすことができれば素敵ですね。



コアプラザかのロビーから見える「御霊山」です。
この山の上には、小さな祠があるんですよ！

色々あって楽しそうだけど、ランプを作るなんて難しそう……なんて心配されている方がいるかもしれません。大丈夫、今回は山代和紙を使って作品を作られている講師の先生が、なんと二人もいらっしゃって丁寧にご指導していただけるんですよ。

それに、小さな子どもさんでも作れるぐらい簡単なものになっていますので、大人の方であれば30分もあれば十分仕上げることができるぐらいです。不器用なわたしでも、なんとかなるかな……なんて思っていたりするぐらいです。

和気あいあいとした中で、楽しく山代和紙に触れることができればいいなと思ってのイベントですから、ぜひお気軽な気持ちでご参加いただければ幸いです。

今年の七夕は土曜日。週末は、コアプラザかので楽しい時間をお過ごしください。

また、このイベントで作っていただいた山代和紙ランプは、7月20日から旧大潮小学校校舎・講堂を使って行う作品展「鹿野アートフェスティバル」にて、大潮の夏の夜を彩るイベントに使わせていただこうと考えています。

七夕だけではなく、今後のイベント、そしてその後は皆さんの家で……山代和紙を使った”夢あかり”が、いつまでもきれいに輝いてくれるといいなと思います。

七夕ワークショップ”夢あかり”

日時　：７月７日（土）
　　12:30　開場
　　13:00　開始
開場　：コアプラザかの　大会議室
参加料：1,000円（材料費含む）
定員　：100名

＊夜19:30から同会場にて、山代和紙ランプと竹とうろうによる「キャンドルナイト」も実施します！

七夕の夜は、コアプラザかのにぜひお越しくださいませ♪



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー
くちコミ

発行　〝くちコミ〟編集部
http://straynotes.net/
mail：kuchikomi2009@gmail.com
＊原稿の寄稿も受付中です！

鹿野アートフェスティバル開催！

七月二十日より、大潮小学校にて

まだまだ梅雨明けの声も聞けない７月、当団体「町づくり応援団〝えーる〟も参加して企画している「鹿野アートフェスティバル」が開催されます。昨年まで「山代和紙と作家たち」という名前で開催していたこのイベントは、昨年までと同じく鹿野の伝統工芸品である「山代和紙」を使っての作品展を行うことで、山代和紙の魅力を来場者の皆様に伝えること、そして鹿野を訪れた皆様に鹿野のいいところをたくさん見てもらいたい。そんな思いを持って開催しています。

そして、今回の催しは山代和紙の作品展だけではありません。わたしたちの考えに賛同していただき、パッチワークを作られている倉冨良枝さんたち「布と針の友」、ＪＡ周南女性部のパッチワークグループの皆様、鹿野の企業であり、非常に美しい「石英ガラス」の製品を作られている周南クオーツ様にも出品をいただき、一緒に鹿野を盛り上げていこう！　という思いの下、和紙と布、の作品展を同時に開催することとなったんですよ。

会場となる旧周南市立大潮小学校をお貸しいただいた大潮の皆様、賛同いただいたパッチワークサークルの皆様、周南クオーツ様、ご協力いただいた皆様のお力で、今年も素敵な作品展をお届けできます。

ぜひ会期中は、大潮に足を運んでみてくださいね。





また、先月号で開催の予告をしていました「七夕ワークショップ　夢あかり」も7日、無事に終了することができました。

上の写真は、会場となったコアプラザかの様の裏手に設置した竹とうろうの様子です。撮影の都合でまだ空が明るいですが、実際に皆様にごらんいただいたのは夜。竹とうろうにともしたろうそくの黄色い明かりと、天の川をイメージした白い明かりが、とてもきれいで素敵でしたよ。ご来場いただいた皆様からも「とてもきれい」という声をたくさんいただくことができました。

昼に行いました山代和紙ランプ製作も、皆様が思い思いにランプを作り、絵を描き、素敵なランプを作っていらっしゃいました。夢あかり、そして鹿野アートフェスティバルを通じ、少しでも山代和紙の魅力をお伝えできれば幸いです。

鹿野アートフェスティバル

日時　平成24年7月20日（金）～23日（月）
10:00～17:00（20日）
10:00～20:00（21・22日）
10:00～16:00（23日）
会場　旧周南市立大潮小学校校舎・講堂

＊入場料は無料です。

「鹿野の風」プロジェクト　第5章

甘ずっぱい出会い

七月二十日～二十九日、鹿野のお店でイチゴをめしあがれ。

さて、鹿野アートフェスティバルと同時期に、鹿野の町なかでは、鹿野の飲食店が参加して行われる企画の第5弾が開催されます！

去年の夏から始まったこの企画、ぐるっと回って２回目の夏も、夏に採れる特別な「夏イチゴ」を使っての企画となりました。

右にある参加店舗一覧をごらんください。回を追うごとに参加される店舗も増えて、どんどんにぎやかに、そして企画の輪が広がっていくのを感じます。

参加する店舗さんの前には、下の写真のような「黄色い旗」が出ていますから、ひと目で参加しているかどうかがわかるんですよ。この９日間は、町のあちこちでたなびく旗を見ることができると思います！

気になる料理の内容ですが、和菓子、洋菓子から飲み物にイチゴを利用したものまで、お店によってさまざまな料理が取り揃えられています。夏イチゴは貴重な果物なので、どの店舗さんも毎日数量限定での販売となります！　お気に入りのお店を見つけたら、定休日を確認の上ぜひお早めにご来店くださいね。

また、28・29日は町なかで”ワクワク”するような催しものを企画されているそうです！　どんなイベントがあるのか、ぜひ足を運んでみてくださいね。特に29日は選挙もあり出かける方も多いと思います。その帰り道、ちょっと町なかを歩いてみてください。ちょっとした驚きが、皆さんをお待ちしていると思いますよ。

そしてこの企画が終わった後は、毎年恒例の天神祭が30日に行われます。たくさんの企画、お祭りがめじろ押しの鹿野の７月を、皆さんお楽しみいただければと思います。



参加店舗一覧

【大潮】
- 花＆喫茶　さくや
- カフェ　かつうら
- マルタ
- 大潮田舎の店
- Garden Cafe　911

【渋川】
- 農家レストラン　たぬき
- 長野山ロッジ
- 石船温泉

【市街地】
- はなどり
- 大田屋
- しゃくなげ
- ま心
- 周平堂

【金峰】
- 林家民宿　きずなの宿

（敬称略）

「鹿野の風プロジェクト」第５章

甘ずっぱい出会い

・会期
平成24年7月20日　～　29日

・営業時間
各店舗ごとに違いますので、個別にお問い合わせください。

・イベントに関するお問い合わせ
0834-68-2215（大田屋　原田）

皆様のご来店、心よりお待ちしております♪



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

発行　”くちコミ”編集部
ＵＲＬ：http://straynotes.net/
kuchikomi2009@gmail.com

今日は活鮮で”子どもまつり”！



毎日暑い日が続いていますが、皆さんは元気にすごされていますか？　さて、今日の夕方から、活鮮ストアーさんの駐車場を会場にして、上野自治会さん主催の”夏休み子どもまつり”が行われます！

このイベントでは、バンド演奏や自転車ショー、よさこいなどたくさんのイベントの他、夜7時からはもちまきならぬ「カップラーメンまき」が行われる予定になっています。

その他、手打ちうどん、焼きそば、フランクフルトにから揚げ、おもちゃ販売などなど、たくさんの屋台も出る予定になっているんですよ。先着100名様にお菓子・花火・風船の無料プレゼントがあったりと、たくさん楽しいことが会場で待っていますよ！

以前、新聞の折込にこのお祭りのチラシが入っていたのをごらんになった方もいらっしゃると思いますが、そのチラシの右下に小学生限定、お菓子などの「無料サービス券」がくっついているのを見られていたと思います。ちょうど涼しくなり始めた４時からイベントが始まりますので、夕涼みをかねて家族みんなで足を運んでみてくださいね。お子さんも、とても喜ばれると思います♪

催しいっぱいのお祭りです♪

そして、今回の目玉イベントは5時45分からの”ゆかたの似合いそうな女性だ～れ？”の発表イベントです！

くちコミをお読みのあなた。もしかすると、このイベントの投票箱に投票していませんか？　この企画、イベント内では「発表」とあるとおり、事前にスタッフの方が投票箱を設置して事前に投票を行っています。

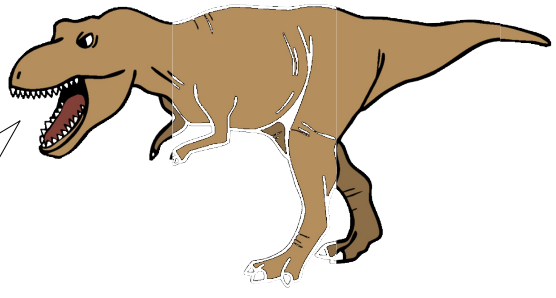
スタッフの一人、手打ちうどん「はなどり」の店主・龍さんは「鹿野は”みんな知り合い”の町ですから、事前に投票しても”あそこの娘さんなら浴衣が似合いそうだね”というのがわかる町だと思います。都会だと、こうはいかないと思いますよ」とお話いただけました。隣に住んでいる人がわかる町・鹿野であるからこそ事前に投票することができるんですね！

また、もしかするとこのコンテストで入賞した方は、会場でその素敵な浴衣姿を披露してくれるかも！？　皆さんの選んだ「浴衣の似合いそうな女性」が、会場にやってくるかもしれませんよ♪

夏休み子どもまつり

日時：8月18日（土）　午後４時～８時
場所：活鮮ストアー駐車場

午後５時２０分から会場に怪獣がやってくる！
今回の怪獣はとても強いから、がんばって退治しないと、怪獣が勝っちゃうかもしれないよ！



盆踊りの季節です！

さて、8月の催しものといえば、やっぱり盆踊りのことを忘れてはいけないと思います。すでに8月中旬から鹿野のあちこちで盆踊りが始まっていますね。

「鹿野の」盆踊りって、どんなもの？

鹿野の盆踊りとは、元々新仏のあった家の近所の方々が集まって、家の前で踊って仏様を供養するもので、その家の人は供養をしてくれる地区の皆さんに接待する……というならわしがあったそうです。もしかすると、実際にそうした盆踊りを知っていらっしゃる方がいるかもしれませんね。

そうした流れもしだいに変わってきて、近年になると地域の広場を使い、レクリエーションとして盆踊りが行われるようになってきたそうです。そんないきさつがあって今に伝わってきている盆踊りですが、皆さんはご参加されましたでしょうか？

盆踊りでは右のイラストのように、太鼓を叩いたりくどき唄を歌ったりして、その周りを人が囲んで踊ります。この盆踊りの太鼓は、鹿野のさんさ保存会の皆様が叩かれているんですよ。

太鼓と一緒に歌われるくどき唄も、盆踊りのひとつの見所だと思います。今回紹介する「鈴木主水（もんど）」くどき」の他、たくさんのくどき唄が鹿野には伝わっています。くどき唄の多くは江戸末期、人情話などを単純な節に乗せて唄われ、万人に好まれて歌い継がれ、盆踊りなどで唄い継がれてきたものなんですよ。そうしたくどき唄ひとつとっても、鹿野の歴史を感じることができますね♪

「鈴木主水くどき」の一部

（音頭は省略しています）

何からかかろうか思案でござる
前の先生がくどいた後で
何をやっても皆くりかえし
花のお江戸のそのかたわらに
さしもめずらし心中ばなし　ところ四谷の新宿町に
音に聞えし橋本屋とて　紺ののれんに桔梗の紋よ
あまた女郎は数あるけれど　お職女郎の白糸こそは
歳は十九で当世育ち　愛嬌よければ皆人様は
我も我もと名指してあげる わけてお客はどなたと聞かば
春は花咲く青山辺り　鈴木主水という侍よ
……以下省略

ちなみに今日18日は、鹿野学園成人部の運動場で盆踊りが行われる予定です！　ぜひ、皆さんも足を運んでみてくださいね。





懐かしの写真展　鹿野町商工会にて開催中！

ただ今、鹿野町商工会にて鹿野の昔の写真を見つけて、それを保存・展示しようという計画が進んでいます。鹿野の懐かしい写真、特に「鹿野劇場」の写真をお持ちの方を探しているとのことです！　ご自宅にある貴重な写真を、是非この機会に展示してみませんか？

お問い合わせは68-2259（鹿野町商工会 片山さん）までどうぞ。

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー

くちコミ

号外

平成２４年　１月２９日発行
発行者：町づくり応援団”えーる”

鹿野の雪を楽しく♪

かまくら作りを楽しみませんか？

急にめっきり冷え込んで、雪も降り出してきましたね！　全国的に強い寒波がやってきているみたいです。

さて、そんな雪を楽しんでしまおう、ということでかまくら作りの企画が持ち上がっている、という記事をつい先日の３６号でお伝えしたかと思います。**この寒さで降り出した雪を使って、さっそくその企画が動き出しているみたいです！**　下の写真のようなかまくらが作られていて、雪国ならではの光景を見せてくれています。

皆さんも除雪のついでにかまくら作りに参加してみませんか？　かまくら作りのボランティアである「手子人（てごにん）」はまだまだ募集中です。一緒に作ってみたいという方は**鹿野町商工会（68-2259）**か**鹿野総合支所産業土木課（68-2335）**までご連絡ください。皆さんのご参加、お待ちしています♪



２４、２５日の雪で、さっそく鹿野にかまくらができ始めています！
童心に返って、雪遊びをしてみませんか？